

東京都の福祉保健行政への意見・要望等（自由意見）

東京都の福祉保健行政への意見や要望等について、自由に書いてもらったところ、395人（「特になし」は除く。）から要望や意見が寄せられた。

内容は極めて多岐にわたっており、紙面の都合上全てを掲載することはできないが、意見の趣旨を損なわないように配慮しながら意見をまとめ、掲載した。

主な意見・要望の内訳（単位＝件）

内 容	件 数
1 保健医療施策の充実	157
医療体制	51
患者受入体制	18
医療情報	12
医療人材	12
リハビリテーション	5
健康	27
特定健康診査	14
各種検診	10
保健医療全般	8
2 福祉施策の充実	46
高齢者	21
子供	7
障害者	7
福祉全般	11
3 負担の在り方	50
医療費助成	29
その他費用負担	21
4 各施策の広報	75
5 本調査に関するもの	103
6 その他	45
合 計	476

※ お一人で複数の内容について意見・要望を記入いただいた場合は、内容ごとに集計している。

主な要望・意見は以下のとおりである。

1 保健医療施策の充実

○ 医療体制

- ・ セカンドオピニオンを気軽に利用しやすい環境づくり。現状では主治医に中々切り出し難い。(80代男性)
- ・ 一人暮らしでも入院治療出来る病院又は公的保健機関があると有難い。今は身内の保証人が必要だが兄弟も高齢で適さなくなっている。(70代男性)
- ・ 現在、訪問医療を母が利用しており、おおむね満足しているが、適切な診療所を捜すのに苦労したので、もう少し在宅医療に力を入れてほしい。情報も全く不十分なので充実してくれる事を願う。(60代男性)

○ 患者受入体制

- ・ 救急車を呼んでから受け入れ先が決まるまでに時間がかかりすぎる。重篤な症状ほど決まらないのでどうかしてほしい。(40代男性)
- ・ 近所のクリニックの休診日がみんな一緒に休みの日に行けるクリニックがない。子供が土曜日の夕方、魚の骨がのどに刺さってしまったが、土曜は休日診療も夜間診療も行っておらず、大変困った。また、タクシーも全く拾えず、何かあった時、今後不安だと思った。(40代女性)
- ・ 近所の病院は木曜休診のところが多く、子供が具合悪くなった時に遠くまで連れていかなければならないのが不便。また、かかりつけ医の先生がお薬手帳を見た時、「色々な病院に行っているね」と言われた。そういう見方はやめてほしい。(50代女性)

○ 医療情報

- ・ アプリなどから自分の病気に必要な情報や、知識を得られるようなサービスがあったらいいと思う。毎回病院に行き行って感じるのが、自己負担額を目安でいいので提示してほしい。会計時に意外と高額である時に不快な想いをする。(30代男性)
- ・ 沢山の病院のそれぞれの特徴、専門性などをわかりやすく説明している一覧が欲しい。沢山あるだけに選ぶのに困る事がある。(70歳女性)

○ 医療人材

- ・ 医療機関従事者への適正で正当な報酬を確保し、より良い人材を育成してほしい。(40代男性)

○ リハビリテーション

- ・ ガンのような大病後に、日常生活へ復帰するまでの筋トレ、食事指導など受けられるリハビリ施設が利用できればいいのと思う。父は、食堂ガンで嚥下困難となり、闘病後も体力と落ちた筋力を戻せず、予後不良で入退院を繰り返した。術後のサポートの重要性を痛感した。(40代女性)

○ 健康

- ・ 高齢者の健康だけでなく若者の健康増進にジムの補助など予算を投じてほしい。(20代男性)
- ・ 病気になる前段階に気軽に体を動かせる講習や低価格で運動ができる機会が数多くあると、良いと思う。(60代男性)
- ・ 自分自身が不健康になった時に、保健医療について勉強することになると思うが、それでは手遅れと思われる。いかに不健康予備軍の方に周知するのが課題である。(50代男性)
- ・ たばこの副流煙被害、ポイ捨てなど法令違反が目立つため、都内全域での喫煙禁止を進めて欲しい。(30代男性)
- ・ 元喫煙者としての意見だが、COPD 予防の為の受動喫煙防止も必要だが、愛煙家にとってはきつい運動になるように感じる。(70代男性)
- ・ 健康食品を称するものも多く、きちんとしたガイドラインに沿ったものだけを認めてほしい。(70代女性)
- ・ 花粉症対策きちんとしてほしい。これからの子供たちはもっと花粉症の子が増えてくると思う。2~4月はとても辛く、仕事や学業にも支障が出る。日本にとっても生産性が下がり、今後とても不利益になると思うので、一刻も早く対策をお願いしたい。(30代女性)

○ 特定健康診査

- ・ 40歳以上の健診ではなく、病気の弱年化が進んでいるため、年齢を下げしてほしい。(30代男性)
- ・ 特定健康診査とガン検診が一日で受けられるようにしてほしい。(60代女性)
- ・ 特定健康診査で指摘(肥満等)を受けたサラリーマンが無料で、トレーニングジムを利用できるようにしてほしい。(40代男性)

○ 各種検診

- ・ 検診の通知が、種類によってバラバラに来るが、この期間にはこれが受けられるというまとめた告知にしてもらえれば、保管もしやすいし、一度に同じ期間で受診する事も可能なので、ご一考頂きたい。(40代女性)
- ・ 子宮頸がんの検査が要経過観察となり、年に1度でいいところ3か月に1度検査をしなければいけなくなったが、毎回無料にしてほしい。(20代女性)
- ・ 歯科診療は高いので、健康診断の中に歯科検診があればいいと思う。(30代女性)

○ 保健医療全般

- ・ ガンを抱えながら、働ける職場(理解ある職場)の提供をしてほしい。3月に内定をもらっていたのに、病気のことを伝えたら内定取消となった。(40代女性)

2 福祉施策の充実

○ 高齢者

- ・ 特別養護老人ホームとか、老健施設に入所が困難だと聞くが、順番待ちが少しでも早くなる事を願っている。(80代女性)
- ・ 認知症の人が入れる安価な公的施設を増やしてほしい。プライベートのホームはどんどんできるが、入居料などが高額になり、入れたくても入れられず、介護者の精神的負担は大きい。デイサービスは充実していると思う。次代を担う子供への福祉、補助の充実も大切だが、介護をしている人たちへの補助も必要。介護者が先にバテる。(50代女性)

○ 子供

- ・ 保育園入園希望者は全員入れるように、体制整備を行ってほしい。共働きなので、入園できなければ困る。(30代男性)

○ 障害者

- ・ 慢性的な障害のある子供に対して、ケアマネジャーのような担当者をつけて、定期的に連絡を取り、予防接種や入園、入学に向けての準備や医療や福祉サービスの相談にのってあげてほしい。行政の方から、使えるサービスの利用を積極的に働きかけてほしい。(50代女性)
- ・ 視覚障害なので、電話が使えないところが多く、自分が倒れた時に、メールや筆談が自宅や外出時にできない。それが一番の不安。救急相談センターを利用できないので、自宅で倒れたりした時に、ワンタッチですぐ緊急事態であることを連絡できるシステムがあればいいと思う。(60代女性)
- ・ 目に見える病気だけでなく「発達障害」の理解を深め助けてほしい。相談にのるだけでなく親が居なくなった後のサポートがあれば安心なのだと思う。(50代女性)

○ 福祉全般

- ・ 昔、初産で育児に不安があった時に、保健師さんの言葉で傷ついたことがあった。時間は経ちましたが、その時のことは今でも覚えている。今ではインターネット、SNS等で調べると、様々な情報に溢れている世の中だが、「人」の温かさは、やはり「言葉」と「態度」にあると思う。「人間」はものではないと思うので、「温かい福祉」であってほしい。(60代女性)
- ・ 今後ますます高齢者の数が増加するが、それに行政が対応できるのか非常に疑問。自助努力の必要が強調されるような世の中にならないでほしい。(50代男性)

3 負担の在り方

○ 医療費助成

- ・ 子供の医療費補助について、区市で差があるようだが、全国で中3まで無料になるよう願う。(50代女性)
- ・ 難病医療費の自己負担額が多い。所得により段階があるが、収入は変わらないのに自己負担額が年々増えている。もう少し負担軽減をしていただけないものか。(40代男性)
- ・ 不妊治療に対する助成をもう少し手厚くしてほしい。今の時代、多くの子供が不妊治療で授かっている現実があるのに、家庭の所得で助成を受けられないのは不公平だと思う。一生懸命働いているからお金があるだけで、別に裕福なわけではない。それなのに、世帯収入が多いというだけで全く助成が受けられないのは腹立たしい。(30代女性)

○ その他費用負担

- ・ 国民健康保険料が自分自身の利用より、大きな費用負担だと感じている。支払うことに不満はないが、年間で保険を利用しなかった人に少しでも返金していただける制度等があると、もっと暮らしやすいと思う。(30代女性)
- ・ 東京都だけではなく、妊娠中や出産にかかる費用をもう少し下げてほしい。(30代女性)
- ・ 病院で看護師として働いている。医療や薬剤も新薬が出て、今まで治療が進まなかった疾患も選択肢が広がりとてもいいことだと思うが、生活保護の人は最先端の治療を受けられる一方、収入の少ない人は金銭面で諦めていたり、もどかしい思いがある。がん免疫療法の新薬などは、高くて高額医療制度などを利用できない人が多い。働いている人が治療を受けられず症状が悪化して働けなくなるという負のスパイラル状態にならないよう、何か制度を増やしてもらえると良いと思う。(30代女性)

4 各施策の広報

- ・ 病院で勤務しており、軽い症状でも救急車を呼んで受診される患者さんが多くて困る。「#7119」や「ひまわり」をもっと知ってもらえるようにしていただきたい。(30代女性)
- ・ 母が最近「要介護2」の状態であり、1人で生活するのは難しい状態になっており、「福祉・介護」について関心が高まっている。高齢化社会も進行しており、「福祉・介護」の需要が増えている一方で、「福祉・介護」について、サービスや制度を知らない人が多くいると思う。制度の恩恵を受ける権利がある人に、適切な情報が届くような社会作りをしていかなければならないと感じる。(30代男性)
- ・ わかりやすく窓口の有無を広く伝えてほしい。また、情報をもっと先まわりして、年代に合わせて情報を促して欲しい。(50代女性)
- ・ 精神的な病気についての相談窓口が少ない。医療情報をもっとネット以外の方法でもわかりやすく広報してほしい。電話の相談窓口を増やしてほしい。(50代女性)
- ・ 保健医療施策について知る機会がない。タウンページのように困ったらココ!と、情報を手に取りやすい環境が必要だと思う。(40代女性)

5 本調査に関するもの

- ・ 一度訪問していただいたが、不在のため郵送対応となった。共働きのため、訪問調査の対応は難しいので、今後は郵送対応の方が望ましい。(20代男性)
- ・ アンケートの回答方法が○印と番号記入があり、直感的に進められないので、○印記入のみなど、どちらかに統一していただけると、もう少し速く回答できるかもしれない。ビラ配布(広告と混同して捨ててしまうかもしれない)などで、もっと紹介されても良いと思う。最後の設問(保健医療施策)は、知らないものばかりだった。(50代男性)
- ・ このアンケートもオンラインでやってほしい。今や70歳以上でもスマホを使う人たちも沢山いて、パソコンやタブレットも使う。字をこうして書くのも悪くないが、オンラインの方が便利なので、回答方法を選べるようにしてほしい。(40代女性)
- ・ 質問数が多すぎる。調査が訪問と留め置きとの2つの方法で面倒だし、何に役立っているのかよくわからない。もっと簡単な方法で情報を集めてほしい。(40代女性)
- ・ 調査時に家族構成や年収等プライバシーに関することを口頭で答えたが、調査員にプライバシーに関することを回答するのは抵抗がある。訪問調査ではなくして欲しい。(60代男性)

6 その他

- ・ 貴重なアンケートに参加させていただきありがとうございました。人生100年時代を迎え、70歳過ぎた自分も健康に気をつけており、今日できることは今日中にと心がけております。日々、朝を無事迎え、夜は今日1日ご苦労様と自分に言い、1日を終えます。年を重ねるということはこういうことかと感じることもあります。かかりつけ医を持っていることは自分としては安心ですが、がんに罹るのも2人に1人の時代です。早期発見を心掛け、健康診断を定期的に受けようと思います。(70代女性)